

平成29年度 小型家電リサイクル啓発事業 「親子リサイクル体験教室 in 仙台高専」を開催しました。

使用済み小型家電等に利用されている金属等の相当部分が回収されずに廃棄されている状況から、その再資源化を促進し、資源を有効に利用するため、小型家電リサイクル法が平成25年4月に施行されました。

東北経済産業局では、身近な小型家電から「金」を取り出す体験をすることで、次世代層の子どもたちにごみの減量やリサイクルに関する意識を向上させることを目的に、高専や自治体、認定事業者のご協力を得て、小学生4～6学年の児童を対象とした親子リサイクル体験教室を開催しています。

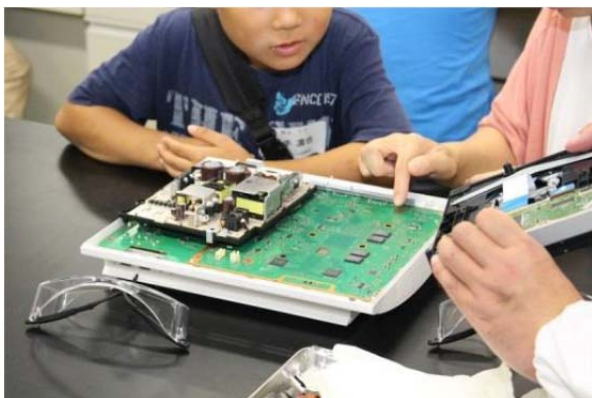
今年度は8月8日(火曜日)に、仙台高専名取キャンパスにて、親子リサイクル体験教室を開催し、名取市及び岩沼市在住の小学生親子19組 38名が参加しました。

○親子リサイクル体験教室開催風景

仙台高等専門学校遠藤副校長から、体験教室の趣旨や実験手順等について説明がありました。



①使用済みのパソコン、ゲーム機などの基板を観察し、端子の部分に金が使われていることを確認しました。



②別途配布した端子をペンチで切断し、試験管に装填しました。



③試験管に試薬を注入し、その試験管をドラフト内の湯浴に浸して、ドラフト内で反応を観察しました。
(金が基板から剥離してきます。)



④反応を待つ間、大教室に移動し、関連する以下の説明を聞きました。

- 小型家電リサイクル法の説明 (DVD上映) (東北経済産業局)
- 「小型家電の資源リサイクルについて」(ニッコー・ファインメック(株))
- 「小型家電リサイクルの取組について」(岩沼市)
- 「電子製品に入っている金属の持つ役割について」(仙台高等専門学校)



⑤その後、剥離された金を、フィルタを使って回収し、その様子を観察しました。



⑥回収された金は、記念としてお持ち帰りいただきました。



<参加者アンケートの結果(抜粋)>

「小型家電をリサイクルする仕組みがあることをご存知でしたか？」

| | | | | | |
|---------|--------|-------|--------|--------|-------|
| (保護者回答) | 知っていた | 73.7% | (児童回答) | 知っていた | 26.3% |
| | 知らなかった | 26.3% | | 知らなかった | 73.7% |

「使わなくなったものに入っている資源をリサイクルする大切さがわかりましたか？」

| | | |
|--------|-----------|-------|
| (児童回答) | わかった | 73.7% |
| | なんとなくわかった | 26.3% |

小型家電リサイクルの仕組みを知らなかった児童が3割近くいたが、実験を通して資源再生の重要性について認識が深まった。また、「今後、このような体験教室に参加したいですか？」の質問に対し、保護者、児童ともに94.7%が「参加したい」と回答しており、体験教室への高い期待がうかがえた。

<参加した方の感想(アンケートより抜粋)>

(小学生から)

- 小型家電をリサイクルすることで、いろいろなところで役にたっているのが分かった。
- 小型家電に金が使われていることを知って、すごくおどろいた。化学反応がとてもおもしろかった。またこのような体験をしたい。小型家電のリサイクルをしようと思った。

(保護者から)

- 普段はできない体験ができたと思います。とても楽しかったです。家電の中身も見ることができて面白かった。
- 実験と説明の構成が良かった。リサイクルについて考える良い機会になりました。先生のお話が分かりやすく、良かった。
- 回数を増やして、もっとリサイクルを広めてほしい。子供の作業は、とても良い経験でした。